

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

|                |               |     |                |
|----------------|---------------|-----|----------------|
| ○事業所名          | 児童発達支援ルーム わかな |     |                |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 4月1 日   |     | ~ 2026年 1月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)        | 10名 | (回答者数) 6名      |
| ○従業者評価実施期間     | 年 月 日         |     | ~ 年 月 日        |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)        | 9名  | (回答者数) 8名      |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年2 月 28日  |     |                |

## ○分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等            | さらに充実を図るための取組等                  |
|---|--|----------------------------------|---------------------------------|
| 1 | ことば音楽療法で楽しく言葉や表現力を引き出す                     | 落ち着いた状態で音楽療法などの活動を通して表現力を引き出している | 日々の小さな成長を保護者に伝えられるようにする 情報共有の強化 |
| 2 | 一人ひとりの個性を尊重しその子に合ったペースで支援している              | 外遊びなどで、しっかり体を動かして心の発散をしている       | 野外活動のバリエーションを増やし、経験の幅を広げていく     |
| 3 |  |                                  |                                 |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等            | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                    |
|---|--|------------------------------|---|
| 1 | 個々のペースを優先しているため、全員で合わせるような集団行動の経験が不足している   | 個々の情緒の安定や発散を優先して支援を組み立てているため | 友達と一緒に遊んだり、順番を待つなどの社会性の基礎を遊びの延長で取り入れていく |
| 2 | 支援内容に職員間で差が出ることがある                         | 支援方法の共有が十分でない部分がある           | 支援の手順や関わり方の共通理解を図る                      |
| 3 |  |                              |   |